

特 集

動物愛ランド・京都 2015 5月 OPEN

オープニング イベント

トレーニング
&
ドッグスポーツ

トレーニングやアジリティの
デモンストレーション

ドッグランでは、センターの譲渡犬に向けたトレーニング方法の紹介（京都方式）と、飼い主が投げたフライングディスクを愛犬がキャッチするフリスビーや決められたコースを飼い主と愛犬と一緒に走るアジリティ（犬の障害物競走）のデモンストレーションが午前と午後の2回行われました。

午前の部のアジリティでは、日本一になったシェパードが登場。楽々とハードルを跳び越える勇姿に「カッコいい!」「すごい!」と観客から大きな拍手が送られ、得意気に飼い主さんに駆け寄って行きました。



▲アジリティ



トレーニングデモ▲



▲フライングディスク

★みんなが安心して利用できるように
守ってほしいルールがいろいろあるよ!

- ・鑑札と狂犬病予防注射済票を装着してね。
- ・ドッグランに入場後、周りの子が落ち着いてからリードを外してね。
- ・飼い主さんは、周囲の迷惑にならないよう、犬の行動をしっかり見守ってね。
- ・ドッグラン内での飲食、喫煙、犬への餌やりはやめてね。給水はオッケーだよ。
- ・ウンチやおしっこは責任持って片付けてね。
- ・発情期のメス犬や伝染病、皮膚病にかかっている犬など、入場できない場合もあるから、きちんと確認してね。

他にもいろいろ守ってほしいルールがあるから、詳しいことはホームページで確認するか、センターに直接問い合わせてね!
(オバQ)

京都動物愛護センター ドッグラン

検索

動物愛ランド・京都 ボランティアスタッフ チーム活動紹介

活動をとにかく楽しく!

動物たちのために何かしたい!新しいセンターでお手伝いしたい!という熱い思いを胸に集まった私たちボランティア。とはいっても、年齢も職業も、動物との関わり方も、動物に対する考え方も様々。。。



せっかくなら、楽しくなくっちゃ!!
みんなのモチベーションを維持し、やりがいのある活動になるよう工夫しています。

コミュニケーションが大切!

現在、約70名のボランティアスタッフがいますが、全員が一堂に会する機会は数えるほど。実際に顔を合わさなくても、お互いが常に最新の情報を共有できるようなツールを考えたり、定期的にミーティングを開催したりと、情報交流の要としての役割を担っています。



ボランティア
元気アップチーム



ボランティアスタッフは一定の頻度で京都動物愛護センターにて動物舎の清掃や来館者の案内などの活動をしています。それ以外に、希望によって参加するチーム活動を4つ設定しています。

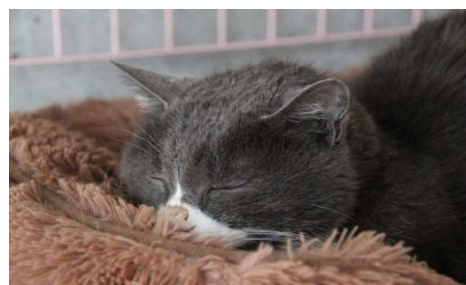
各チームには担当職員が付き、月1回程度の定例会を持ちながら、テーマごとの活動をしています。

しっかりスキルアップも!

動物看護師やトリマーなどといった専門知識をもったメンバーや職員による勉強会を開催したり、他施設への見学ツアーなどなど、スキルアップできる機会も企画しています。



元気アップチームは9名で、ボランティア同士の情報交流や懇親を担当しています。チームの雰囲気は、その名の通り、元気アップそのもの!!「縁の下のか持ち」としてボランティアを支えてくれている頼もしい存在です。
(iroha)



▲昼寝中のミーちゃん

譲渡舎
見学 「飼い主さん、いらっしゃ〜い」
職員が案内する譲渡舎ツアー

センターに保護された犬や猫は、健康診断やペットとしての適性チェックを経て、動物棟の譲渡舎で新しい飼い主を待ちます。譲渡希望者には職員が案内し、譲渡犬や猫について詳しく説明します。左京区から見学ツアーに参加した女性は、「お掃除も行き届いて、快適そう。この子たちはみんな健康やと聞いたんで、センターから譲ってもらえると安心ですね」と話していました。



▲子猫もいるよ



▲遊び道具も充実

マルシェ 「かわいい!」がいっぱい

ドッグマッサージやアニマルペイント、犬や猫向けの手作りおやつやグッズなどの販売。また京都の大学で取り組んでいる猫の活動を紹介するコーナーなどもあり、たくさんの人が集いました。収益の一部は京都市動物愛護事業推進基金に寄附されました。



▲お天気も良くにぎわいました



ぜひセンターへ
見に来てね!▲

ペットの
健康相談 心配事を気軽に相談

ここで診察に当たっている京都市獣医師会会員である獣医師2名が、ペットの健康相談に応じました。「うちの子の目ヤニが気になって」と相談に来たラブラドルの飼い主さんは、「病院に行かんとあかんかなあって思ってたんですけど、ここで聞けてよかった」と、獣医師のアドバイスに熱心に耳を傾けていました。獣医師会が本年5月20日にオープンした夜間動物救急センターでは、一つでも多くの命を救うため、夜間に発生した事故や病気に対応します。

診療時間：午後9時30分～午前2時
要電話予約 ☎075-693-9912



▲相談にのる井葉野獣医師

ボランティア
パネル展示 ボランティアって
どんな人?

事務所棟にある展示コーナーでは、センターで活動しているボランティアスタッフを紹介。犬派51%、猫派39%、両方10%と様々ですが、「センターを盛り上げる!」という共通の目的で出会った仲間です。ボランティアは赤いベストを着ているので、声をかけてくれると嬉しいな。(M.I)